

厚生労働科学研究委託費（長寿科学研究開発事業）

委託業務成果報告（業務項目）

業務項目名：

地域診断と見える化ツールを活用した介護予防施策マネジメント・パッケージの開発

d. 介護予防事業計画の立案までのマネジメント・プロセス開発

d-10. 松浦市

「第6期介護保険事業計画策定に関する提案」作成までの  
地域診断を活用した地域ケア会議の取り組みに関する研究

研究分担者 山谷麻由美 長崎県立大学看護栄養学部看護学科 講師

**研究要旨** 長崎県松浦市が地域ケア会議で行った、「第6期介護保険事業計画策定に関する提案」作成までの過程を整理し、介護予防Webアトラス等を活用した地域診断の好事例を示し、地域診断の意義を明らかにすることを目的とした。

地域ケア会議では、地域診断結果から、健康課題の共有、目標の設定、課題に対する支援策の検討を行い、第6期介護保険事業計画策定への提案を行った。このことから、地域診断は松浦市の高齢者の健康と暮らしの現状と関連を示すものであり、松浦市に暮らす高齢者のニーズに沿った支援策を考えるために必要不可欠であると言えた。また、住民に地域診断結果を示すためには、わかりやすい資料を作成する必要がある、「見える化」ツールである介護予防Webアトラスは活用可能性が高いと考えられた。

## A. 研究目的

「地域における保健師の保健師活動に関する指針」では、地域診断に基づくPDCAサイクルの実施が保健師の役割と明記されている<sup>1)</sup>。

厚生労働省の「見える化」事業による地域診断データ：介護予防Webアトラスや10万人規模の横断疫学研究の結果をベースとして開発した地域診断ツール：JAGES-HEART（研究代表者；近藤克則）は、介護予防に関する根拠に基づいた地域診断を助けるものとして期待されている。しかし、地域診断結果を提示するのみでは活用されにくいことから、地域診断から計画・実施・評価の事例を示すことが必要であると考えられる。

本研究では、長崎県松浦市が地域ケア会議に

おいて実施した、第6期介護保険事業計画策定に関する提案作成までの過程を整理し、介護予防Webアトラス等を活用した地域診断の好事例を示し、地域診断の意義を明らかにすることを目的とする。

## B. 研究方法

### 1. 長崎県松浦市の概要

長崎県松浦市（以下、松浦市）は、長崎県北部の北松浦半島に位置し佐賀県に隣接している。県庁所在地の長崎市からは車で約2時間（有料道路利用時）である。公共交通機関は路線バスと松浦鉄道がある。周囲を海と山に囲まれた自然豊かな土地であり、第三次産業が最も多いが、第一次産業（漁業・農業）も盛んである。

2006年1月1日に、旧福島町・旧鷹島町と新設合併し新市制による松浦市となった。人口は、2010年の国勢調査で25,018人、高齢者数7,523人（29.9%）である。都市部から離れていることもあり人口の流出と高齢者の増加で少子高齢化が進んでいる。

## 2. 調査方法

長崎県松浦市の地域ほけん課介護保険系の担当保健師から、地域ケア会議の活動内容・地域診断結果の活用状況等の情報収集を行った。

（倫理面の配慮）

長崎県立大学の倫理委員会の承認を得て実施した（承認番号190）。

## C. 研究結果

### 1. 松浦市地域ケア会議の活動内容

#### 1) 地域ケア会議委員の構成

市居宅介護支援事業者等連絡協議会、市社会福祉協議会、市民生委員・児童委員協議会、市老人クラブ連合会、介護サービス事業者代表、人権擁護委員協議会、長崎地方法務局平戸支局、県北リハビリテーション広域支援センター、市医師会、県弁護士会、県北保健所、警察署、消防署、市福祉事務所、市健康ほけん課の16名で構成されていた。

#### 2) 任期

2013年4月1日～2015年3月31日

#### 3) 2014年度の活動内容

地域包括ケアシステムの基本的な考え方に基づき、松浦市は「住み慣れた松浦で安心して自分らしく暮らすことができる」を目標に、地域ケア会議の活動計画をたてた。

最初に、介護予防Webアトラス等を活用した地域診断結果による地域の健康課題の共有を行い、重点目標（高齢者が社会とのつながりを保ち、自ら活動できる場の提供、

高齢者を支える関係機関および地域住民

の支え合いによる生活支援）を定め、今後必要と考えられる支援策について検討した。

次に、松浦市の施策に提言を行うために、生活支援、介護予防、認知症対策の3つのテーマに関して、具体的な支援策を地域ケア会議（実務者会議）において検討した。各部会と関係機関、年間スケジュールは文末資料のとおりであった（図1・表1）。

### 2. 松浦市の地域診断内容

松浦市の担当保健師は、2013年度に既存のデータ（介護予防Webアトラス）によるニーズ調査の分析結果から地域診断し、市内住民、関係機関、地域ケア会議等に情報提供した。

保健師が作成した地域診断の内容は、松浦市の人口構成、高齢化の状況、介護度、介護保険料などを松浦市の少子化とあわせた予測を踏まえながら整理したもの（介護予防Webアトラスの結果を独自に改良し「健康と暮らしの実態調査」をグラフや表にして松浦市の各地区の比較と順位づけを行ったもの（図2・表2）

松浦市の住民に地域診断結果を報告した際聴取したニーズの内容（表3）と市内の社会資源を整理したもの及びその考察であった。

### 3. 「介護保険事業計画策定に関する提案」

地域ケア会議の各部会で検討した内容を整理し、「在宅医療・介護連携の推進」「認知症施策の推進」「生活支援・介護予防サービスの基盤整備の推進」の3点について提案した。地域診断の内容が特に反映されたのは「生活支援・介護予防サービスの基盤整備の推進」であった。これは、関係機関や住民の支え合いにより日常生活上の支援を受けることで自分らしい在宅生活を送ることができるように支援するものであり、以下の9点が提案された。

- [1]住民主体による集いの場の確保及び支え合い活動に対する助言・助成等の支援
- [2]住民の主体的な介護予防の取り組みに向けての啓発及び支援
- [3]高齢者が日常生活上困ったときに活用できるように生活に密着した内容の生活支援パンフレットの作成
- [4]エコマネー（生活支援カード）を活用した登録ボランティアによる生活支援
- [5]介護予防、地域支え合いサポーターの養成
- [6]買物弱者対策について、関係機関との連携した取り組み
- [7]生活支援コーディネーターによる生活支援の担い手と利用者とのマッチングや関係機関、地域住民のコーディネート
- [8]介護予防マネジメントに対する多職種による検討会の開催
- [9]介護予防サービス事業者に対する成功加算の検討

#### D. 考察

##### 1. 松浦市地域ケア会議の活動

松浦市地域ケア会議は、松浦市の地域包括ケアシステムの構築に向けて、地域診断により明らかにした現状・課題の把握から始め、目標を共有したのちに、課題を解決するための支援策を3部会に分かれて具体的に検討している。また、委員構成は住民を含めた関係する機関を保健師が選定し、効果的・効率的に議論が行えるような配慮がなされている。その結果、現在、松浦市の調川地区で実施している（2013年度～）「お寄りませ」という高齢者のサロンが展開されており、サロンの活動は他の地区にも広がりを見せつつある。また、「第6期介護予防事業計画策定に関する提案」を作成・提出するなど、住民と関係機関が参加した形での「地域づくり」が検討されている。これらのことから、地域包括ケアシステム構築において、松浦市地

域ケア会議の活動は、その役割を十分に果たせていると考える。

##### 2. 「介護予防事業計画策定に関する提案」作成までに地域診断が果たした役割

地域診断の方法のモデルは、既存の資料（2次資料）の活用、目的に沿った調査の実施（1次資料）、民族誌学的接近（1次資料）としての地区視診・エスノグラフィーの応用を包含したものである。<sup>2)</sup>松浦市の保健師は、松浦市の地域の特性・少子高齢化・健康課題等を示す既存の様々なデータ、高齢者を対象に実施した「健康と暮らしの実態調査」の結果（介護予防Webアトラス）、これまでの保健師活動で把握してきた地域の情報に加え、既存の社会資源について改めての情報収集、ニーズ調査というような、地域診断に必要な情報の整理・分析を丁寧に行っている。地域ケア会議においても、地域診断で明らかになった、松浦市の地区別の課題の比較や順位をもとに重点地区を選定したり、3部会の介護予防部会では集いの場（サロン）や介護予防リーダーの育成など目標を達成するための取り組みの具体的内容が検討され、「介護予防事業計画策定への提案」の作成につながっている。

この中での地域診断の果たした役割は、松浦市の高齢者の健康と暮らしの現状を明らかに示したことにあると考える。現状には、心身の健康のみならず、自然環境・経済・交通・コミュニケーション・レクリエーション・保健医療福祉サービスなどの松浦市の全体像、各地区の高齢者の人数・家族構成・健康状態・介護度・住まい・買い物・交流・受診・交通などの地区の詳細が含まれている。そして、保健師が地域診断の結果を示すことによって、この現状の理解と高齢者への影響の関連を知り考える機会を住民が得ることになっている。また、このことから、このままの状況が続けば松浦市の高齢者の健康と暮らしはどのようなようになるかという

予測もたてられたと思われる。

この過程においては、保健師の地域診断能力が必要であり、松浦市の保健師は介護予防Webアトラスなどの地域診断ツールを上手く活用して住民にもわかりやすい見せ方を工夫していた。データを意味のある情報にするために介護予防Webアトラスなどの「見える化」ツールは効果的であり、地域診断において保健師の事務的作業を減少させることにもつながると思われる。

松浦市の事例のように、地域診断で明らかにした情報を行政だけのものにせず、住民や関係機関と共有することで、地域の健康は個人の努力にとどまらず、社会がつくるものであるという認識につながり、今回のような参加型の「地域づくり」の取り組みにつながったと思われる。

## E. 結論

松浦市の保健師は、住民と協働した介護予防の取り組みを行うため、住民と関係機関に対し、地域診断結果の資料作成と情報提供を行ってきた。地域ケア会議においては地域診断結果から、健康課題の共有、目標の設定、課題に対する支援策の検討を行い、第6期介護保険事業計画策定への提案をするまでに至っていた。このことから、地域診断は松浦市の高齢者の健康と暮らしの現状と関連を示すものであり、松浦市に暮らす高齢者のニーズに沿った支援策を考えるために必要不可欠であると言えた。また、住民に効果的に地域診断結果を示すためには、わかりやすい資料を作成する必要がある、その中において介護予防Webアトラスは活用可能性が高いと考えられた。

## F. 研究発表

### 1. 論文発表

山谷麻由美,荒木典子:地域診断を起点とした

地域住民や関係機関との協働のまちづくり - 介護予防Webアトラスを活用した松浦市の試み -, 医学書院,保健師ジャーナル Vol.70 No. 09,812-816,2014

### 2. 学会発表

発表予定

## G. 知的財産権の出願・登録状況(予定を含む)

### 1. 特許取得

なし

### 2. 実用新案登録

なし

### 3. その他

なし

### < 引用文献 >

1. 週刊 保健衛生ニュース 第1707-1号,通知 地域における保健師の保健活動について (平成25年4月19日付健発0419第1号),社会 保険実務研究所,2013
2. 金川克子・田高悦子,地域看護診断[第2版], 東京大学出版会,2011

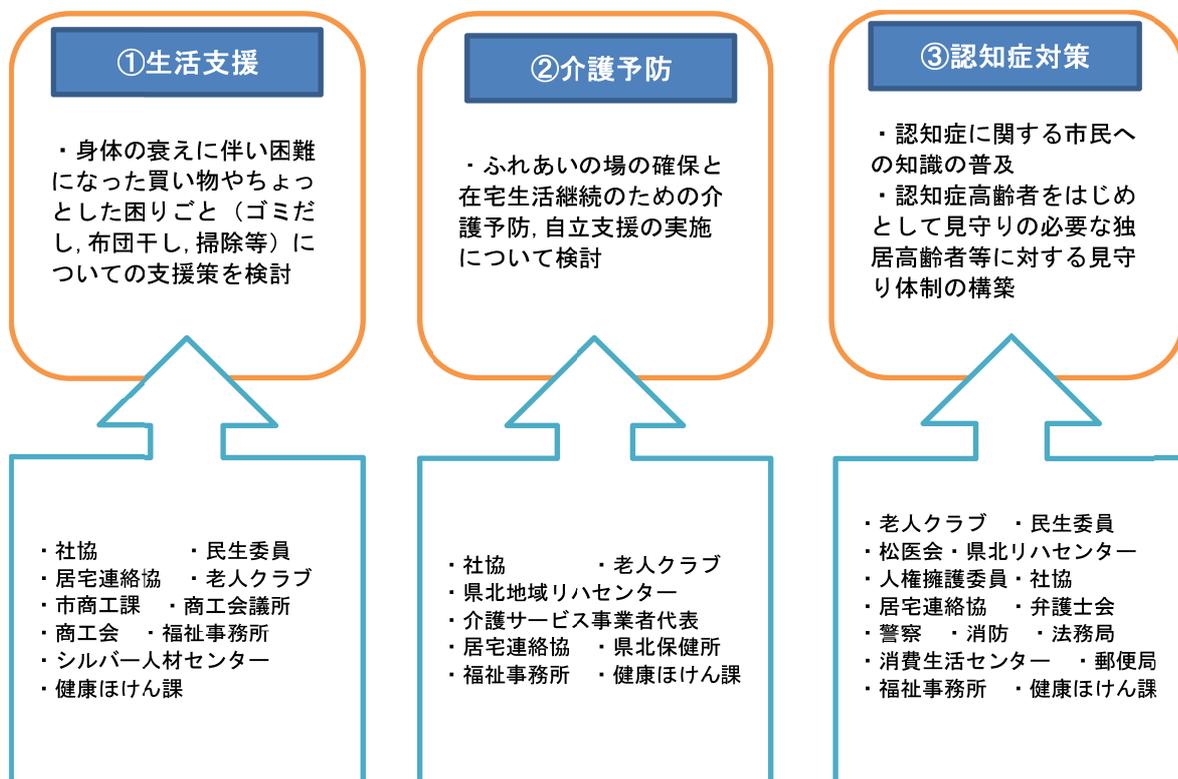


図 1：各部会と関係機関

表 1：年間スケジュール

期 日	会 議 名	内 容	
5月	第1回代表者会議	平成26年度活動計画	
5月	第1回実務者会議	虐待事例の進行管理	
6月	第2回実務者会議	生活支援部会	介護予防部会
7月	第3回実務者会議	介護予防部会	認知症対策部会
8月	第4回実務者会議	認知症対策部会	生活支援部会
9月	第5回実務者会議	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 虐待事例の進行管理</li> <li>・ 「松浦市介護保険事業計画に関する提案」作成</li> </ul>	
10 or 11月	総合事業実施に向けて, デイサービス事業所を対象にした視察研修		
平成27年1月	第6回実務者会議	虐待事例の進行管理	
平成27年2月	第2回代表者会議		

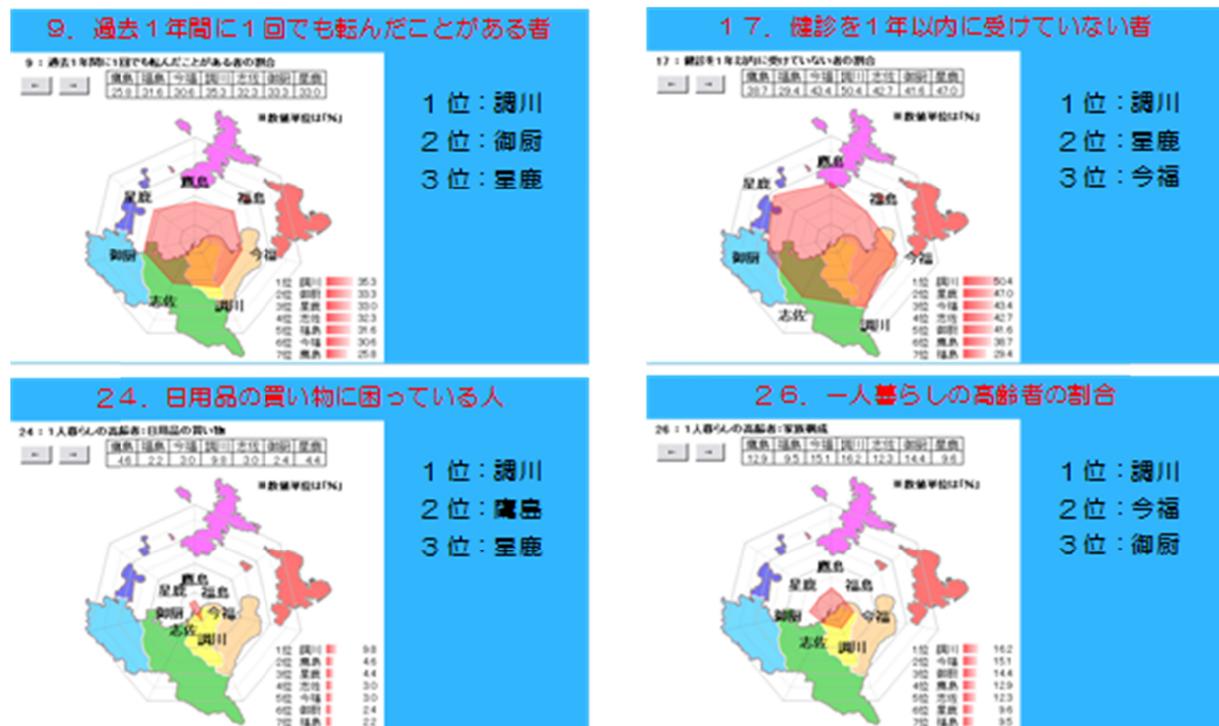


図2：地区比較（課題ごと） 一部掲載

表2：地区順位（項目ごと）

項目	順位	割合
高齢者の在住割合	5	12.5
前期高齢者割合	1	50.9
後期高齢者	7	49.1
ここ3年における介護保険申請率	6	21.1
新規申請率	2	27.1
65歳以上で認定持っていない人	2	65.4
二次予防対象者	4	16.7
要介護認定者	6	17.9
過去1年間に1回でも転倒	1	35.3
面がほとんど無い者	5	24.3
瘦せすぎ	1	8.9
うつな気分が多い者	7	6.7
外出頻度週1回未満	3	13.1
物忘れが多いと思う者	7	18.2
喫煙者	2	11.5
1日の歩行時間30分未満	4	41.1
健診を1年以内に受けていない	1	50.4
毎日飲酒	4	15.9
虐待を受けていると感じている	2	20.6
虚弱な者	3	5.9
運動器の低下	2	32.2
紙羊羹	1	3.7
口腔機能低下	5	15.9
日用品の買い物に困っている	1	9.8
食事の用意に困っている	1	4.9
1人暮らしの高齢者	1	16.2
老人クラブ参加率	6	20.2
宗教団体参加率	6	23.9
政治団体参加率	7	15.5
ボランティア参加率	5	18.4
スポーツ参加率	4	24.8
町内会・自治会	6	50.2
趣味・グループ活動	4	37.0

表 3：高齢者のニーズ

項目	総合的なニーズ
交流の場	人と集い交流する場がほしい
買物・調理・掃除	体力的に困難な作業の手伝いがほしい 食事・日用品の確保が困難である
健康・介護予防	老化による障害や病気を予防したい
地域における助け合い	お互いに支えあえる地域を作りたい 助け合いに参加したい
地域の活性化・まちづくり、その他のニーズ・意見	